



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

- 国際会長主題 「輝かそう、あなたの光を」 Let Your Light Shine
 アジア地域会長主題 「変革のための光となろう」 Be the light for change
 西日本区理事主題 「未来に灯そう希望の光」 Let's illuminate the light of hope for the future
 中部部長主題 「みんなで参画」
 金沢クラブ会長主題 「心を一つにし、思いを一つにして、固く結び合おう」

2023 11 月間強調

BF

今月の聖句(北村まやさん)

神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。
 コリントの信徒への手紙一 10章 13節

11月強調月間

国際協会のメンバーであることを自覚し、献金目的の理解を深め、積極的に協力しましょう。
 国際・交流事業主任 牧野万里子
 (京都ウエスト)

11月例会プログラム

とき 2023年11月16日(Thu.) 18:30~20:30
 ところ れんが亭
 会費 ¥3,000(会員は無料) ¥2,000円(メット)
 司会 北村 まやさん
 開会・点鐘 山内ミハル会長
 主 題 司 会 者
 ワイズソング 一 同
 今月の聖句 北村 まやさん
 ゲスト紹介 山内ミハル会長
 食前の感謝 山内ミハル会長
 スピーチ 小林 裕子氏
 “問題解決の思考法”
 ハッピーバースデイ 山内ミハル会長
 ニコニコタイム 数澤淑子メット会長
 Y M C A の 歌 一 同
 閉会・点鐘 山内ミハル会長

10月クラブ活動状況

第1例会(10月19日 Thu.)
 メ ン:伊藤、数澤、山内、吉川 (4名)
 出席率:50%
 メネット:伊藤、数澤 (2名)
 ゲ ス ト: (0名)
 メーカー:北村 (1名)
 第2例会(10月26日 Thu.)
 メ ン:数澤、北村、山内、吉川 (4名)
 メネット:数澤 (1名)
 ニコニコタイム 6,000円
 クラブファンド 累計 28,000円
 BFポイント
 切手 150g 累計 350g
 現金 0円 累計 0円

会 長 山内ミハル 直前会長 幸正 一誠
 副 会 長 数澤 輝夫 書 記 南 唯乃
 会 計 吉川與志子 メット会長 数澤 淑子
 直前部長 山内ミハル

第一例会:毎月第三木曜日 18:30~20:30
 れんが亭 金沢市大和町1-1
 Tel (076-26-3113)
 第二例会:毎月第四木曜日 17:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル12F(ロア) Tel (076-233-1311)

いも煮会の歩み

数澤 淑子

金沢クラブ恒例の行事である「芋煮会」は、メネット会主催の看板行事として35年余、毎年秋のお楽しみ例会となっていました。“金沢クラブはメネットで持っている”と揶揄されながらも、メンと共にワイズライフを楽しんでいた良き時代が懐かしいです。現在はメンの高齢化や様々の理由で退会者が増えて、会員数減となりました。メネット会も発会から来年で40年になろうとしています、ついに2人となってしまいました。栄枯盛衰は世の習いといいますが、そういうわけでメネット会主催の芋煮会は今回をもって幕を閉じることとなりました。長い間には遠方からもご参加下さった方々との親しい交わりのひと時もありました。また多くのご協力いただいた方々に感謝いたします。次回からはクラブ一丸となって金沢クラブ名物？の芋煮会が継続されることを期待するものです。振り返れば、最初の芋煮会は犀川上流の河原で、まだ若かったメンやYMCAの職員が河原の石を積み上げてかまどを作り、燃料はみんなで拾い集めた流木でした。実に野趣味豊かでのどかな芋煮会でした。当時はYMCAも細々ながら機能していて、リーダーや子どもたちも集まり、多い時は30人位の参加者があったように記憶しています。しかし、河原でのたき火の規制や、天候の心配などであちこち場所を変えながら、現在は山あいにある金沢市の施設「内川スポーツ広場」に定着しています。こちらにも緑豊かな自然の中にあり、申し分ないロケーションで便利な設備も整っています。

さて、今回は10月28日(土)、朝からあいにくの雨のなかでの芋煮会となりましたが、窯場は屋根もあり野外での活動は出来ませんが、設備の整ったレストハウスに場所を移して、大きな木製のどっしりしたテーブルを囲んで、出来立て熱々の美味しい芋煮鍋を真ん中に、楽しいお食事タイムとなりました。今回、北村さんファミリーのご参加は何より嬉しく思いました。ご主人は雨の中、荷物運びから竈まわりまで即戦力として大活躍で本当に助かりました。久しぶりにシングルマザーの会から母子2組の参加がありました。遠く内灘町とかほく市から、4年生と5年生の元気な男の子ふたりがお母さんと参加されました。

この元気な子どもたち、そして若いお母さんたちが芋煮会の雰囲気をも明るく賑やかにしてくれました。準備にも進んで参加され、子どもたちは慣れぬ手つきで里芋を切ったり、薪割りも器用にやってのけたりと、ほとんど遊び感覚で楽しんでいるようでした。芋煮鍋が出来るとの間はシャボン玉に興じたり、雨が小降りになると、傘をさして芝生広場を走り回ったり、いなくなったと思ったらどこからかどんぐりを手にいっぱい拾って帰ってきました。やっぱり子どもは遊びの天才です。

途中、薪が足りなくなるというハプニングが勃発、事務所へ買いに走ったところ、もう薪は置いていないとのこと、仕方なくバーベキュー用の炭を1箱購入するも、火力が弱くて四苦八苦、何とかみんなの知恵で



危機を乗り越え、美味しい芋煮鍋が出来上がり、レストハウスでいただくことが出来ました。飯盒で炊いた美味しいご飯と、かぶときゅうりの浅漬け、そして最後に熾火で焼いたホクホク五郎島の焼き芋、いつもの芋煮会コースを堪能しました。終わったころには雨もすっかり上がり、グラウンドでは少年野球の元気な掛け声が青空に響き渡っていました。

参加者 ワイズメン：数澤、北村まや、山内、吉川
メネット：数澤、北村
ゲスト：北村心宙、下村、林さん親子、
安原さん親子

以上 12名 でした。



小林裕子氏のプロフィール

1960年6月1日 金沢生まれ

26歳の時、住友生命保険相互会社に、営業職員として入社。

プレイングマネージャーからマネージャーとなり、60歳退職後、和文化 和の風水 近代易学 フラワーエッセンスを学ぶ。

現在は、学んだ事をまとめ、思考と感情を整えるセラピストとして活動。

また、種々の講演会等を企画開催。

【10月例会の報告】

10月は出席者6名という、金沢ワイズ始まって以来初めての少人数例会となりました。つい2~3年前までは、14~15名は集っていたのですが…。

高齢化、コロナ禍の影響もあってなかなか会員増強にはつながらない昨今ですが、おいしいイタリアン料理に舌鼓を打った後、伊藤ワイズの若かりし頃の思い出の中から、青春についてのスピーチを楽しく伺いました。



されど青春(青春とは)

伊藤 仁信

1.「青春とは」という詩との出会い

確かではないが1980年前後のころ、ハードボイルドという言葉が流行し、何にでもこの言葉が付けられていた時期がありました。ある書店に寄った時「ハードボイルドの経済学」という本があったので興味半分で購入してみました。当時の経済界の方が経営方針としてこの詩を愛読していると書いてありました。何故この詩と経済学が関わりあるのか浅学の私には分かりませんが、本文よりもこの詩について大変興味を持ち、しかも文語体で書かれていたので私も興味を持ちいろいろ探した結果、詩人のサムエル・ウルマンの詩だと判明しました。この詩人は多くの方が翻訳しており、

しかも翻訳の翻訳などされており原文より翻訳者の考えで表現されているのが多いようです。

2. 今この時も青春

一般的に青春とは、年齢の若い時代を言っており経年と共に過ぎ去り、決して持ち続けることはできませんし、物理的に戻ることもできません。青春は、内に秘めた強烈な個性と、燃え上がる情熱、豊かな想像力、愛のために捧げる勇気等々持っていれば幾つになっても持つことができます。この様に意味が全く違う事も何も知らず、また意識もせず人生の約半分ほど過ごしてきました。



私の幼少時代は、一年の内約半分は学校を休んでおり精神的に肉体的にも所謂虚弱体質の子どもでした。それが片田舎から東北一の大都会の流れで進学することになり、精神的・肉体的に大きく変化し180度変えることになったのです。しかもその学校は大変規律の厳しい男子のミッション校で、家から駅まで自転車、列車(当時はSL)と乗り換え10年間通学しました。その間の変化の過程は想像できないほどで、天変地異の大変化の生活が続き、あの虚弱体質の痩せこけて無口の少年は何処へ行ってしまったのか、私を小さい時から知っている人達は大変驚いておりました。何故このような180度も、しかも精神的、肉体的に窮地にあってすぐ立ち直ることができ、その理由は分かりませんでした。

3. されど青春

ある時、前述のような偶然で「青春」という詩が目に入り、その裏付けとなるようなことが書かれている事に気付き吃驚しました。自分なりに納得し明文化された詩だったので、これからの人生の座右の書として送ろうと決めました。

それから四十年、その人生の大半はこの詩の様に送ることができたと思っております。更なる自信を持ってこれからも意義ある人生を送ることができると信じております。何か障害が生じててもこ「青春とは」の

詩を胸に持っている、いつの間にか障害の方で遠ざかって行くような気がします。最後に私は文語体が好きなので誰が翻訳したのか分かりませんが、前述の経済誌に載っていた文語体の「青春とは」を記しておきます。

青春とは

原作詩 サムエル・ウルマン
自由訳 不明

青春とは
歳が七十であろうと
十六であろうと
驚異への愛慕心
空にきらめく星辰
其の輝きにも似たる事物や思想に対する歓迎
事に対する剛毅な挑戦
小児の如く求めて止まぬ探求心
人生の歓喜と興味
人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる
人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる
希望ある限り若く
失望と共に老い朽ちる
大地より 神より 人より
美と喜悅
勇気と壮大
そして威力の靈感を受ける限り
人の若さは失われない

《第二例会の報告》

10月26日(木) 17:30~19:30

場所 金沢ニューグランドホテル 12F ロア

参加者 数澤輝夫・淑子、山内、吉川

議案1 11月例会について
プログラム、スピーカーについて決定

議題2 いも煮会について
日時; 10月28日(土) 10:00~14:00
場所: 内川スポーツ広場
シングルマザーの会2組の母子4名参加
各担当を決定

議題3 12月 クリスマス例会について
会場は金沢ニューグランドホテル(銀扇)
会費は5,000円とする。
ゲームの景品を数澤メネット、北村、山内
が準備する。

議題4 編集会議を11月3日15時からに変更。

【12月の担当】

巻頭言 山内ミハルさん
司会 数澤 輝夫君
聖句 数澤 輝夫君
ニコニコ 数澤 淑子さん

いざ立て

- いざたて 心あつくし
手を挙げ 誓いあらたに
われらの モットー守る
ふさわし その名ワイズメン
絶えせず めあて望み
この身を 捧げ尽くさん
- 歌えば 心ひとつに
ともがき ひろがり行きて
遠きも 近きも皆
捧げて 立つやワイズメン
栄えと 誉れ豊か
まことは 胸にあふれん

Y M C A の 歌

- 若人のあつきいのりは
百年の歴史をつづる
とこしえののぞみにもえて
さかえあり Y M C A
われらまたこぞりて起たん
- 開拓のみむねかしこみ
福音のみ旗は進む
地のはての国々までも
ひかりあり Y M C A
われらまた勇みて行かん